

櫻の子



12月号 (令和3年12月1日)

児童数 560名

川越市立大東東小学校



心に響く音楽会！



校庭の櫻の葉が落ち、朝晩の冷え込みに冬の到来を感じる季節となりました。11月9日(火)に校内音楽会が行われました。残念ながら、運動会に引き続き無観客での開催となりましたが、ご理解・ご協力ありがとうございました。打楽器を中心とした合奏のみでの実施となりましたが、どの学年の発表も素晴らしく、2年ぶりの音楽会は、終始感動に包まれていました。子ども達も大きな達成感を感じたことと思います。また一つ成長しました。

1年生 「ドラえもん」

初めての音楽会は、楽しくリズムにのって上手に演奏できました。ドラえもんスマイルが輝いていました。

2年生 「スペインのカスタネット」

とても大人っぽく難しい曲でしたが、ピタッと音がそろい、美しいハーモニーを奏でました。最後はどんどん盛り上がり、スペイン旅行をしているような気持ちになりました。

3年生 「恋」

いろんな楽器に挑戦し、難しい曲を上手に演奏できました。特に後半の速くなるところは、リズムを打つ様子がダンスをしているように見えました。

4年生 「夜に駆ける」

メロディにしっかり合わせて力強く演奏することができました。ノリノリで楽しそうにリズムをうつ姿がとても良かったです。駆け抜ける躍動感を感じました。

5年生 「カルメン」

インパクトある力強いスタートで一気に引き込まれました。リズムうちがきれいに揃い、ダンスショーを見ているようでした。音の強弱やリズムの変化のつけ方も見事でした。

6年生 「情熱大陸」

さすが6年生、見事な演奏でした。壮大さを感じ、アフリカの大地にいるようでした。テンポよく、情熱があふれんばかりで、会場の皆を感動させてくれました。アンコールは5年生も一緒になって盛り上がり、心に残る音楽会となりました。



6年 合奏「情熱大陸」

人権について

12月10日は、国際連合が定めた「人権デー」です。人権とは、私たちが幸せに生きるための権利で、世界中の誰もが持っている権利です。本校では、11月29日～12月4日までを「人権週間」として位置付けています。学校における人権教育のねらいは、「人権の意義・内容等を理解するとともに『自分の大切さとともに人の大切さを認めること』ができるようになること」です。この期間に、人権教育に視点を当てた授業(授業参観時)や標語の作成・紹介、お話朝会による校長講話などに取り組みます。また、平素から折りにふれ、「思いやりの心」や「かけがいのない命」について考える場面を設けて、子どもたちに「人へのやさしさ」を育てています。アンパンマンの作者であるやなせたかしさんは、「相手を喜ばせること。お互いに相手を喜ばせたいと思って動いたらきっとうまくいく」とお話しされていたそうです。今年は、一歩進んで「相手の喜ぶことをしよう」と呼び掛けていきます。

ご家庭でも、友人関係について話す機会をもっていただくようお願いいたします。また、お子様のことで気になること、心配なことがあれば遠慮なく学校にご相談ください。